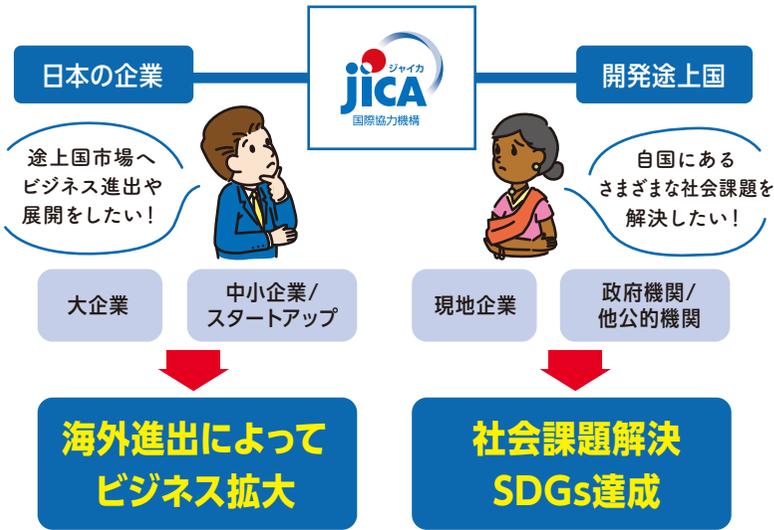


九州企業が持つ技術や製品、サービス、ノウハウを “海外で活かす”

JICA Bizを通じて開発途上国が抱える社会課題の解決に九州の企業の優れた技術や製品を活かしビジネスの力で持続可能な社会と価値共創を目指します。



JICA九州と、企業とのかかわり



海外ビジネスに関する情報交換の場を提供



ビジネスの可能性を現地で体感!



九州各地で海外展開セミナーを開催



JICA留学生が企業の現地調査に参画

海外で活躍する九州の企業実績を紹介します!



JICA Biz 支援メニュー

海外進出の流れ



ニーズ確認調査

ビジネスモデルの検証

対象国の基礎情報をもとに、開発途上国ニーズ、顧客ニーズと自社製品/サービスとの適合性を分析し、競争優位性を含めた初期的なビジネスモデル(市場規模の把握、顧客の特定、流通チャネル等)を検証する。

ビジネス化実証事業

ビジネスプランの策定

製品/サービスに対する顧客の受容性を確認した上で、現地パートナーを確保してビジネスモデルを策定。収益性の検証と製品/サービス提供体制・オペレーションを考案し、ビジネスプラン(事業計画)を策定する。

JICA Bizの活用メリット



JICAの信頼とネットワーク

JICAが開発途上国と築いてきた信頼のもと、調査を実施。民間企業のみでは困難な現地パートナーにアクセスしやすくなります。



コンサルタントによる伴走支援

開発途上国でのビジネス支援経験があるコンサルタントからビジネス化の助言と現地調査支援を得られます。



企業認知度の向上

JICAが成果を発信することで、国内外の認知度が向上します。



豊富な採択実績と高い事業継続率

事業終了後の約8割の企業がビジネス活動を継続中です。

事前コンサルテーション

自社の製品・サービスは開発途上国で活かせるだろうか?

応募情報の不明点があるので確認したい

進出国を検討してるけど、どの様に絞っていけばよいだろうか?



お問い合わせ窓口



お問い合わせは、JICA九州の企業連携課までお気軽に連絡ください。



独立行政法人 国際協力機構
九州センター
〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1
Tel. 093-671-6311 (代表)



詳しくはJICA九州のホームページをご覧ください。 JICA九州 検索



九州企業の技術で世界の “課題解決を目指す”



中小企業・SDGsビジネス支援事業

JICA Biz

独立行政法人 国際協力機構 九州センター

インフラの安全性向上で防災力強化 /
**新技術の地盤強化で
 未来を支える**

佐賀 株式会社ワイビーエム

インドネシアでは、地盤改良不足による地盤沈下がインフラ整備の大きな課題となっています。新しい工法である「中層混合処理工法」で、地盤沈下の防止と地震被害の抑制を目指し、インフラ、地域経済の向上にも寄与することが期待されます。

セメントや石灰を混ぜた改良杭を打設する地盤改良機



環境を守る消火革命 /
泡の力で泥炭火災を撃退

福岡 シャボン玉石けん株式会社

インドネシアでは、森林・泥炭地火災による生態系の消失や温室効果ガスの発生が深刻な問題です。少量の水と高い浸透性で効率的な消火が可能な環境にやさしい石けん系泡消火剤で森林火災の被害を低減し、CO₂排出量の抑制に寄与します。



消火性能試験の為、消火剤を散布



島嶼国のエネルギーの不足を解消! /
**青空コンセントで、
 パラオの電力革命を目指す**

大分 T-PLAN 株式会社

パラオでは、島嶼国ゆえに化石燃料依存や高額な電気代、ガソリン車依存、停電時の脆弱性が課題です。蓄充電機能付きのソーラーカーポート「青空コンセント」と小型EVを活用し、脱炭素交通モデルを提案します。CO₂排出削減や観光と環境保全の両立を目指し、持続可能なエネルギーと交通の未来を実現します。



現地(コロール州)に設置した「青空コンセント」と小型EV



養殖場の底質悪化をカイゼン /
**持続可能な、
 サーモン養殖の新時代**

長崎 大石建設株式会社

チリの水産業では、サーモン養殖による海底の底質悪化が課題です。海底に密閉式装置を設置しジェットで底質を耕耘・吸引することで、汚染された堆積物を周囲の水を濁らせずに効率的に除去する新技術「サブマリנקリーナー工法」で、持続可能な養殖環境の再生と漁獲量の安定化を図ります。



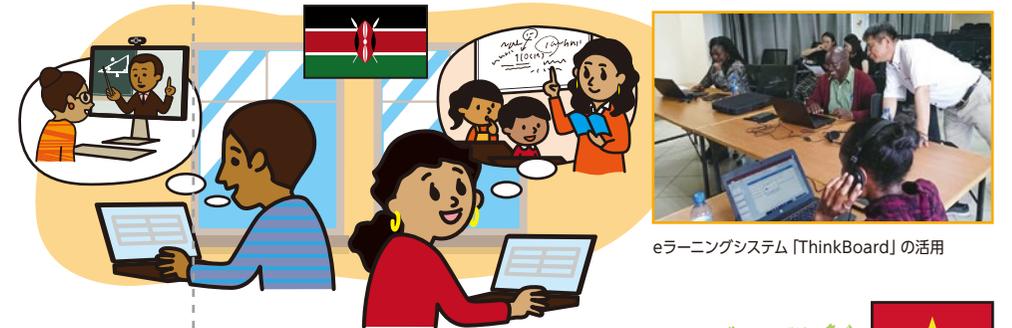
現地のサーモン養殖場



九州から海外へ

JICAの事業を活用して、
海外展開を目指す九州の企業を紹介します!

他の事業については
 こちらをCheck!



eラーニングシステム「ThinkBoard」の活用

農業に適さない土地でも儲かる作物を! /
DX × ハトムギで貧困解決

熊本 西田精麦株式会社

カンボジアでは、農家の収入安定化や耕作不適合地の活用、地域産業の振興が課題です。地雷撤去跡地等を活用し、ハトムギの栽培から販売までの一貫したバリューチェーンとDX技術を活用した栽培指導を提供し、地域の経済成長と貧困撲滅を目指します。



ハトムギの生育状況の確認



人にも地球にもやさしい食材を! /
有機農産物で6次化を目指す

鹿児島 有限会社かごしま有機生産組合

ベトナムでは、農林水産業は基幹産業だが従事者の所得水準は低く、地域間で格差が存在することが課題です。環境に配慮した有機農業、循環型農業を発展させ、有機農産物の生産・加工・販売を一貫して行う「地球畑方式」を導入し、契約農家のコスト削減や収入向上を図り、食の安全性を高めることを目指します。



有機農業に取り組む現地生産者

